

info-pack

株主の皆さまへ

第59期事業報告書
(2019年4月1日～2020年3月31日)



夢を包み、心をつむ。
シモジマ

株主の皆さまへ

President's Message



代表取締役社長

下島 和光

おかげさまで100周年



株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第59期事業報告書（2019年4月1日から2020年3月31日まで）をお届けするに当たり、ご挨拶を申し上げます。

当連結会計年度における連結売上高は482億54百万円（前期比1.2%増）、連結営業利益は5億5百万円（前期比24.6%減）、連結経常利益は7億32百万円（前期比16.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は3億31百万円（前期比35.4%減）となりました。

海外においては米中貿易摩擦や地政学リスクの上昇、国内では物流費の上昇により、先行きは不透明であり、更に、足下では新型コロナウイルス感染症の影響で景気が大幅に下押しされております。さらに、脱プラスチックやレジ袋有料化等の環境問題への意識の高まりなど、事業環境の大きな変化が続いています。

そのような環境の中で当社グループは、柱である営業販売、店舗販売に加えて通信販売を拡充し、それらの販売チャンネルを有機的に連携させる「シモジマ型オムニチャンネル政策」を最重要テーマとして推し進めてまいります。

通信販売においては、取扱い商品の充実や新規会員の獲得に注力しつつ、様々なデータ分析を強化し、顧客の特性に合わせた業種別アプローチで、ヘビーユーザー化を図ります。さらに、ECと店舗の相互送客を図ることで購買機会の拡大に努め、顧客の成功・発展・拡大が結果として当社の利益となる「カスタマーサクセス戦略」を推進します。

店舗販売においては、接客力の向上と特注品の受注及び外販活動の強化を図るとともに、主要都市部を中心とした新店舗の開発と店舗網の再構築に取り組みます。

営業販売においては、Web受発注システム（i-Order）の導入を促進し、「重点業界営業政策」を推進します。また、2019年にグループ化したミタチパッケージ㈱及び朝日樹脂工業㈱とのコラボレーションを強化し、工場、物流分野での売上拡大に努めます。

第59期の期末配当金は、普通配当11円に記念配当5円を加え、1株当たり16円とさせていただきます。通期では、中間配当11円を合わせた27円となります。

今後も当社の活動へのご理解とご支援を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

2020年6月

社是

・誠意・熱意・創意

経営理念

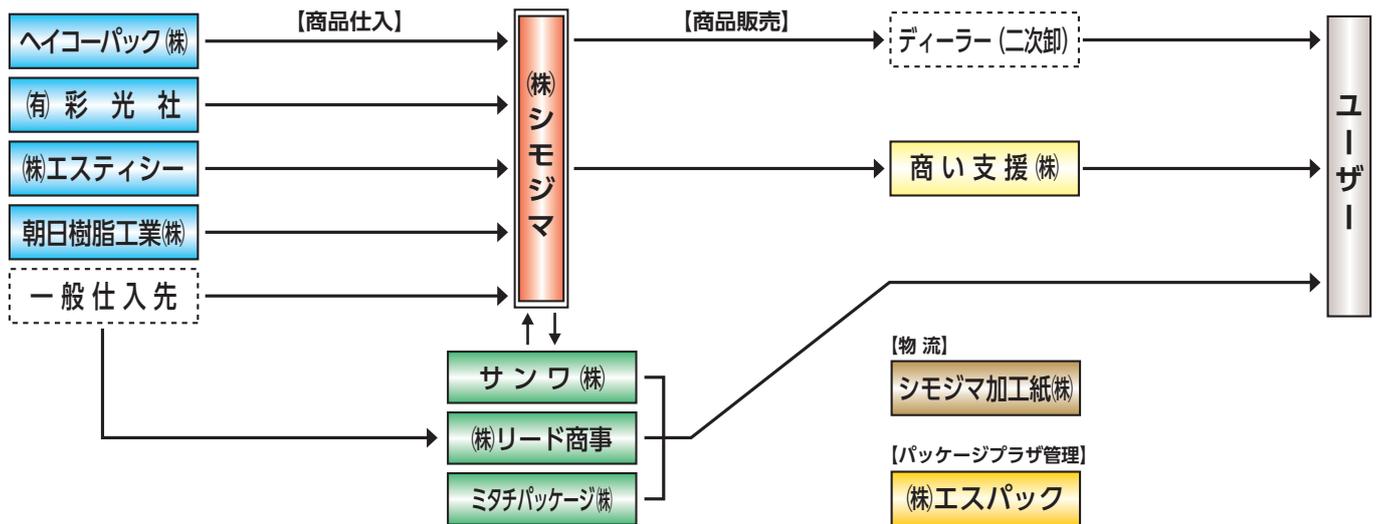
- 一、包装用品とこれに関連する事業を通じ快適な社会づくりに貢献する
- 一、常に顧客のニーズに応え創意工夫による市場拡大に努める
- 一、たえず経営の合理化と積極販売に努力し企業の発展を図る
- 一、社員の楽しく健康的な生活を確保する

中長期方針

1. 事業の拡大
シェア、チャンネル、顧客層の拡大
2. 経営基盤の強化
3. 経営体制の強化

事業の系統図

Business System Chart

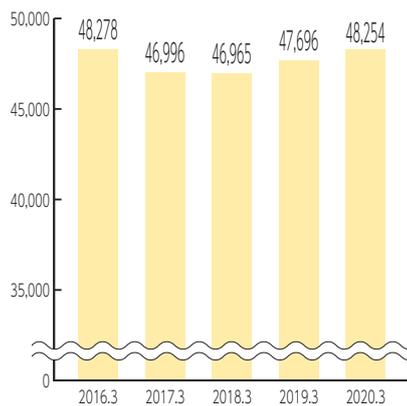


損益の状況

Profit and Loss Situation

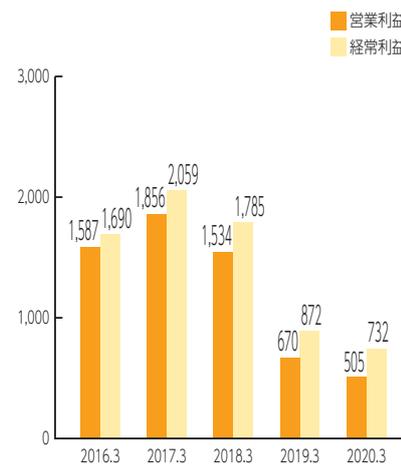
● 連結売上高

(単位: 百万円)



● 連結営業利益・連結経常利益

(単位: 百万円)



● 親会社株主に帰属する当期純利益・連結1株当たり当期純利益

(単位: 百万円・円)



記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

事業セグメントの概況

General Condition of Business Segments

■ (紙製品事業)

連結売上高 93億51百万円
(前期比0.5%増)

<主要な商品>
紙袋、包装紙、紙器



■ (化成品・包装資材事業)

連結売上高 264億8百万円
(前期比1.8%増)

<主要な商品>
ポリ袋、粘着テープ、その他包装資材等



■ (店舗用品事業)

連結売上高 124億94百万円
(前期比0.4%増)

<主要な商品>
文具事務用品、POP用品、店飾雑貨等



1. M&Aによる工業・物流分野への市場開拓

当社グループは基本理念である「お客様のニーズに迅速かつ的確にお応えする」ことを基本に、販売体制及び利益基盤の強化に取り組んでまいりました。その一環として従前より業界の共通需要に特化した商品・サービスを開発しご案内する「重点業界営業政策」を推進しております。

かかる当社の営業体制を強化すべく、当社は、2019年10月に、ミタチパッケージ株式会社の全株式を取得、また同年12月に朝日樹脂工業株式会社の全株式を取得し、それぞれ完全子会社いたしました。

両社が当社グループに加わることにより、新たに製造業界・物流業界への営業を強化し、両業界のニーズにより適合した商品・サービスの提供を図ってまいります。



▲ミタチパッケージ株式会社

▲朝日樹脂工業株式会社

2. スーパーマーケット・トレードショー2020に出展

消費税の「軽減税率制度」が実施されるのに伴い、飲食店やスーパーマーケット業界において「テイクアウト」「フードデリバリー」の需要が広がっております。これに加え、今般、プラスチック以外の素材を志向する「脱プラスチック」のトレンドが顕著となっております。

このような状況下、当期において当社は「スーパーマーケット・トレードショー2020」（幕張メッセ、2月12日～14日）に出展し、『脱プラ宣言!!』をテーマに、プラスチック製品の素材から、紙・バイオマス（植物由来）に代表される地球環境配慮型素材に切り替えられた、食品容器を中心に展示致しました。

紙製のトレーやフードパック、バイオマス成分を含んだレジ袋のほか、デザートカップ、スナック包材、ドリンクカップのような食べ歩きに適した食品包材など、エコと利便性を両立させるための多様な商品群を紹介し、大変ご好評をいただきました。

今後も社会のニーズに対応した商品の開発により販売拡大と社会的貢献を図ってまいりたいと存じます。



▲「スーパーマーケット・トレードショー2020」での当社ブース

3. 消費電力量に関する状況

当社では、電力消費抑制をCSRの重要課題として取り組みを続けております。

当下期におきましては、従業員による節電活動を行うことの他に当社グループの田沼配送センターにおきまして一部LED化工事を実施致しましたが、製造子会社の当社グループ参加などにより、グループとしての消費電力は増加となりました。

この結果、今期におきましては、グループの消費電力量は8,462千kWhとなり、前期比5.0%の増加となりました。

また、原単位として、当社は設備面積当たりの電力消費量を指標としております。同指標の推移と致しましては、当社全体では89.18kWh/m²となり前期比で11.1%の減少となりました。これは大規模店舗のLED導入などによるものであります。なお、子会社では、49.90kWh/m²となり前期比で16.8%の増加となりました。

●グループでの電力消費原単位



*小数点第2位以下を切り捨てております。

●本社のみでのCO₂排出量



*調整後排出係数換算：環境省・経済産業省の省令に基づき算出された係数で換算しています。
*小数点第2位以下を切り捨てております。

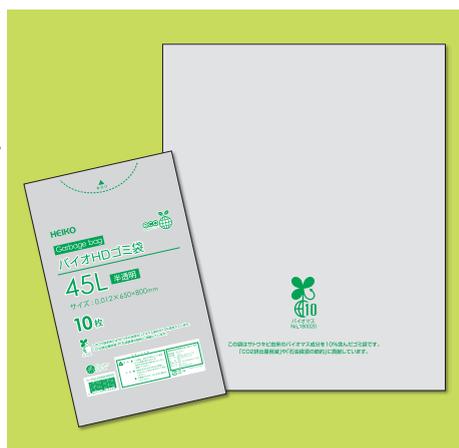
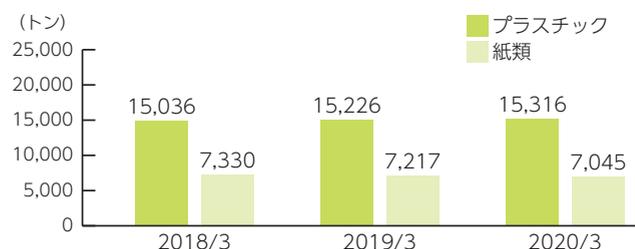
*2020年3月期における減少の主な要因は消費電力の削減と電力会社の変更です。

4. 容器包装リサイクル法への対応

当社は、従前より、包装の利用による環境の負荷について認識しており、その対応の一環として、容器包装リサイクル法への対応に取り組んでいます。具体的には、特定事業者として再商品化委託料を公益財団法人日本容器包装リサイクル協会にお支払いしているほか、容器包装多量利用事業者として、排出抑制に関する報告書を関東経済産業局に提出しています。

排出抑制に関して、声掛けのほか、お客様向けのポリ袋の薄肉化や紙袋のサイズの適正化等の努力を継続しております。

容器包装リサイクル法対応による取り扱い容器包装資材の量の推移



▲バイオマスを活用した「バイオHDゴミ袋」

■ 新商品のご紹介

New Products

<環境への配慮>

1. クラフトフードトレイ

紙製の食品トレイ。食品販売の脱プラスチック化に貢献します。



▲クラフトフードトレイ 12×17

2. ユーカリフードパック

早いサイクルで再生可能なユーカリパルプを70%使用したバイオマスの食品包装資材です。



▲ユーカリフードパック 2仕切り YFP-950

<業務の効率化>

3. ドリンクホルダーバッグ

紙袋とドリンクホルダーを一体化させた袋。ホルダー組み立ての手間を省き、テイクアウト販売を効率化します。



▲ドリンクホルダーバッグ 20-2 (丸紐) 未晒無地

4. ラクポスボックス

組み立て・封が簡単で、メール便に対応しており、通販業務の効率化に寄与します。



▲ラクポスボックス 195-20 クラフト

◆連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (2019年 3月31日現在)	当期 (2020年 3月31日現在)	科目	期別	前期 (2019年 3月31日現在)	当期 (2020年 3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		21,898	19,953	流動負債		4,363	5,053
現金及び預金		9,619	7,332	支払手形及び買掛金		2,167	2,765
受取手形及び売掛金		5,435	5,936	短期借入金		28	47
電子記録債権		604	596	1年内返済予定の長期借入金		2	2
商品及び製品		4,994	5,123	リース債務		101	136
原材料及び貯蔵品		610	590	未払法人税等		303	295
その他		642	388	賞与引当金		359	374
貸倒引当金		△6	△13	役員賞与引当金		26	20
固定資産		17,696	19,411	その他		1,375	1,411
有形固定資産		13,578	14,309	固定負債		2,089	1,383
建物及び構築物		4,532	4,597	長期借入金		5	5
機械装置・運搬具		434	723	リース債務		395	491
土地		7,549	7,881	再評価に係る繰延税金負債		277	277
リース資産		881	954	退職給付に係る負債		1,118	302
その他		179	150	資産除去債務		37	39
無形固定資産		792	1,582	その他		254	266
のれん		-	446	負債の部合計		6,452	6,437
リース資産		65	42	(純資産の部)			
その他		727	1,092	株主資本		38,987	38,807
投資その他の資産		3,325	3,519	資本金		1,405	1,405
投資有価証券		457	379	資本剰余金		1,304	1,304
長期貸付金		264	262	利益剰余金		37,394	37,215
繰延税金資産		497	580	自己株式		△1,117	△1,117
保険積立金		1,842	2,060	その他の包括利益累計額		△5,947	△5,995
その他		407	367	その他有価証券評価差額金		254	199
貸倒引当金		△142	△130	繰延ヘッジ損益		7	29
資産の部合計		39,595	39,365	土地再評価差額金		△6,195	△6,195
				退職給付に係る調整累計額		△14	△29
				非支配株主持分		103	116
				純資産の部合計		33,142	32,928
				負債及び純資産の部合計		39,595	39,365

◆連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高		47,696	48,254
売上原価		32,889	32,941
売上総利益		14,807	15,313
販売費及び一般管理費		14,137	14,807
営業利益		670	505
営業外収益		259	276
営業外費用		56	49
経常利益		872	732
特別利益		47	22
特別損失		55	70
税金等調整前当期純利益		864	683
法人税、住民税及び事業税		353	354
法人税等調整額		△20	△15
当期純利益		531	344
非支配株主に帰属する当期純利益		18	13
親会社株主に帰属する当期純利益		513	331

◆連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科目	期別	前期 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー		656	822
投資活動による キャッシュ・フロー		△908	△2,463
財務活動による キャッシュ・フロー		△893	△647
現金及び現金同等物に係る 換算差額		0	0
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)		△1,145	△2,287
現金及び現金同等物の 期首残高		10,583	9,437
現金及び現金同等物の 期末残高		9,437	7,150

2021年3月期業績予想

Business Forecasts

(単位：百万円)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
47,200	50	210	110

会社の概要 (2020年3月31日現在)

会社名 株式会社シモジマ
英訳名 SHIMOJIMA Co.,Ltd.
創業 1920年
設立 1962年4月26日
資本金 1,405百万円
本社 東京都台東区浅草橋五丁目29番8号
TEL 03-3864-0061 (代表)

従業員数 (連結)926名

(単独)598名

*従業員数は就業員数であり、臨時雇用者は含んでおりません。

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数 24,257千株
発行可能株式総数 67,000千株
株主数 6,108名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 (連絡先)
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(郵送先)
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所 (第一部)

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告の方法により行います。但し、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告の掲載URL <https://www.shimojima.co.jp>

役員一覧 (2020年6月23日現在)

代表取締役社長 下島 和光
代表取締役専務 笠井 義彦 (上席執行役員営業統括本部長兼営業本部長)
常務取締役 下島 公明 (上席執行役員経営企画室長)
常務取締役 下島 雅幸 (上席執行役員管理本部長兼人事部長)
取締役 小野寺 仁 (上席執行役員商品統括本部長)
取締役 川原 利治 (上席執行役員販売本部長)
社外取締役 梅野 勉 (独立役員)
社外取締役 岩崎 剛幸 (独立役員)
常勤監査役 古橋 孝夫
常勤監査役 肥田 耕一
社外監査役 佐藤 裕一 (独立役員)
社外監査役 榎本 峰夫 (独立役員)
上席執行役員 下島 謙司 (グループ管理室長)
執行役員 加藤 吉信 (管理本部副本部長兼経理部長)
執行役員 服部 進吉 (営業本部副本部長)
執行役員 島田 浩一 (販売本部副本部長)
執行役員 大貫 学 (商品本部長)
執行役員 渡辺 昭一 (営業本部副本部長)

当社は、2014年6月24日より執行役員制度を導入しています。

株主優待制度のご案内

当社では、株主様への感謝のしるしとして、下記の要領で株主優待制度を設けております。当社グループの取り扱い商品 (家庭で使用される雑貨) を贈呈いたしております。株主の皆さまにおかれましては、当商品をご愛用いただき当社グループの事業に対するご理解を深めていただければ幸甚に存じます。

- 対象
毎年3月31日現在の当社株主名簿に記録された、当社株式を100株以上ご所有の株主様
- 優待内容
1,000株以上ご所有の株主様に対して、一律に希望小売価格5,000円相当の当社取り扱い商品で家庭で使用される雑貨類詰め合わせを1セット贈呈。
100株以上1,000株未満ご所有の株主様に対して、一律に1,000円のクオカードを1枚贈呈。
- 発送時期
毎年6月中旬より順次発送

以上



(写真は2020年度の株主優待品です。内容は変更することがございます。)

株式会社 シモジマ

〒111-0053 東京都台東区浅草橋5-29-8
TEL.03(3864)0061(代表) FAX.03(3865)4470
URL <https://www.shimojima.co.jp>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



本報告書は以下のような環境配慮をして印刷・製本しています。
製版工程では、使用後に廃材となるフィルムを使用しない、ダイレクト製版 [CTP (Computer to Plate)] を用いています。
印刷工程では、VOC (揮発性有機化合物) の発生が少なく生分解性及び脱墨性に優れた植物油インキを使用しています。